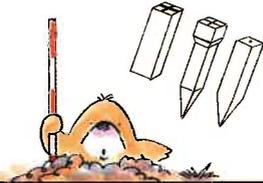


マンガでわかる

とちか おくちょうさし  
土地家屋調査士のしごと



画・さとう有作



# 目次

## マンガでわかる土地家屋調査士のしごと

### C O N T E N T S

【はじめに】	1
【不動産登記制度と土地家屋調査士について】	3
マンガ【たつお君の <sup>マイホーム</sup> 新居ができるまで】	6
画・さとう有作	
1. 登記制度	30
2. 不動産登記について	36
3. 筆界と所有権界	39
4. 土地の利用規制に関する主な法律	41
境界問題相談センター	46
土地家屋調査士会	48

## 【はじめに】

土地家屋調査士は、昭和25年7月31日法律第228号『土地家屋調査士法』により創設された国家資格です。不動産の登記制度において、土地や建物を詳細に調査することで各種の権利の目的物を明確にする役目を担っています。

「不動産登記法」の目的は、国家が不動産取引の安全を保証し、誰もが安心して取引できるようにすることです。その基礎となる部分で、「土地家屋調査士」は不動産の「表示に関する登記」、また土地の境界に関する調査・測量のプロフェッショナルとして、皆さんの財産である「土地」・「建物」をサポートしています。

有名な東京「六本木ヒルズ」の開発計画では、境界や面積の確定作業に約4年を要しました。境界を正確に反映した地図の未整備は、都市部の再開発事業の支障となるばかりでなく、経済の面にも悪い影響を及ぼします。

私たち「土地家屋調査士」は、日常的に高精度地図の整備に協力しています。「六本木ヒルズ」では、土地の境界を確定する作業に携わることで、皆さんの権利関係をも確定させ、再開発事業の円滑化と不動産の流通を促しました。また、法務省が実施する「地図混乱地域」における地図整備事業（不動産登記法第14条第1項地図作成作業）や、市区町村が実施する「地籍整備事業」の境界立会、人口密集地（DID地区）の街区基準点等に基づく登記用の地積測量図の作成など、国策である地図整備（U-JAPAN構想の一角）の促進に向け、活動しています。

「土地家屋調査士」は、長年培った専門的知見から、平成16年に改正された不動産登記法で誕生した、法務局が行う境界についての画期的な制度「筆界特定制度」の中で、筆界調査委員として活躍の場が与えられました。また、裁判外民間紛争解決手続（ADR）では、代理人となる職能も弁護士と協働することで付与されました。現在、その代理人が活躍する場として、土地家屋調査士会が設立するADR機関「境界問題相談（紛争・解決）センター」が全国各地で、弁護士会と協働で設立されつつあります。

現代は高度情報化社会の枠組みが組成され、急速に展開されています。私たちは隣接法律専門職種として、その専門的知見を活用すべく他の専門資格者団体や、関連省庁と連携を図りながら、社会的使命を担いたいと考えています。

皆さん、身近な『不動産の表示に関する登記の専門家』として「土地家屋調査士」をご活用ください。

## 【不動産登記制度と土地家屋調査士について】

それでは、少し不動産の基礎知識に触れておきましょう。

我が国の法律でいわゆる『不動産』とは『土地』と『建物』のことを指し、権利義務を定める法律の中で最も重要な民法に明記されています。

民法第86条【不動産及び動産】①土地及び土地の定着物は、不動産とする。その名のとおり、動かないものであり、持ち運ぶことができません。②不動産以外のものは全て動産とする。つまり、船舶、車、鉛筆、椅子、電卓・・・は動産となります。

民法177条【不動産に関する物権の変動の対抗要件】不動産に関する物権の得喪及び変更は、不動産登記法その他の登記に関する法律の定めるところに従い登記をしなければ、第三者に対抗することができない。

得とは、得る、発生することです。家を建築した場合、その家（不動産）には所有権が発生します。請負業者に代金を支払うことで、建築主に所有権が移ります。

喪は失ったり、消滅することです。建物を取り壊したことによる滅失や、融資の完済に伴う担保権の消滅などです。不動産は自由に売買することができ、また、抵当権等の担保として利用することも所有者の自由です。不動産は日本の社会における経済の基盤であり、国民にとって非常に重要な財産です。

しかし、《登記に関する法律の定めるところに従い登記をしなければ、第三者に対抗することができない。》ということについては、詳しく知られていません。いざという時に困ってしまうようなケースもあるようです。土地・建物の不動産登記簿への記録が「登記」を意味します。登記を怠ったことで、後続した契約者から「この土地は俺のものだ！すでに登記もしてある」と主張され、トラブルになることもあります。契約を自由に行えるこ

とには、責任と義務も伴います。このことを忘れてはいけません。

では、不動産登記簿への記録をするにはどうすれば良いのでしょうか？まず、どこに行って、どのような手続きを行えば良いのでしょうか？

例えばある土地を購入したいと思った時、その土地は誰が持っているのか？どんな土地なのか？面積は？これらは誰にでもわかるように公示される必要があります。国は、不動産の取引の安全を保証するために【不動産登記法】を制定し、土地や建物の物理的状況とその所有権などに関する情報を公開しています。基本的には、その不動産の所在する「法務局」に情報が整備されています。そして、不動産（土地・建物）の物理的状況、土地であれば、どこに、どれだけの広さで、どのように利用されているのかを示す登記が「表示に関する登記」です。「土地家屋調査士」は、一つの土地を数個に分ける分筆・数個の土地を一つにまとめる合筆・地目（用途）の変更・登記されている面積と実際の面積が違う場合に行う地積更正、建物を新築した場合の建物表題登記・取り壊した場合や焼失した場合の滅失登記などの「表示に関する登記」が専門です。そして、土地の測量や境界の復元といった測量技術やデータの取り扱いについても熟知しています。土地の境界（筆界）や、面積についてもっと詳しく知りたいと思ったら「土地家屋調査士」に相談してください。「土地家屋調査士」は、不動産の「表示に関する登記」と土地の境界に関するプロフェッショナルです。

土地取引には「不動産登記法」以外にもさまざまな法令上の手続きが必要です。

それでは実際に、土地を親戚から分けてもらって家を建てるというケースを想定し、それらの手続きの流れをマンガで見ていくことにしましょう。

よーし。  
家を建てるぞー！



こんなに  
規制が  
あったの？



こんな  
時は

土地家屋調査士  
にご相談ください



ス  
ギ  
リ

ほっ！

♪

たつお君の

マイホーム

# 新居ができるまで



## あらすじ

たつお君と里子さんがおじさんから土地を分けてもらい、登記手続などを土地家屋調査士の山田さんに相談しながら新居を建てるまでの物語です。



山田ハカル  
(土地家屋調査士)



たつお君



里子さん



父



母



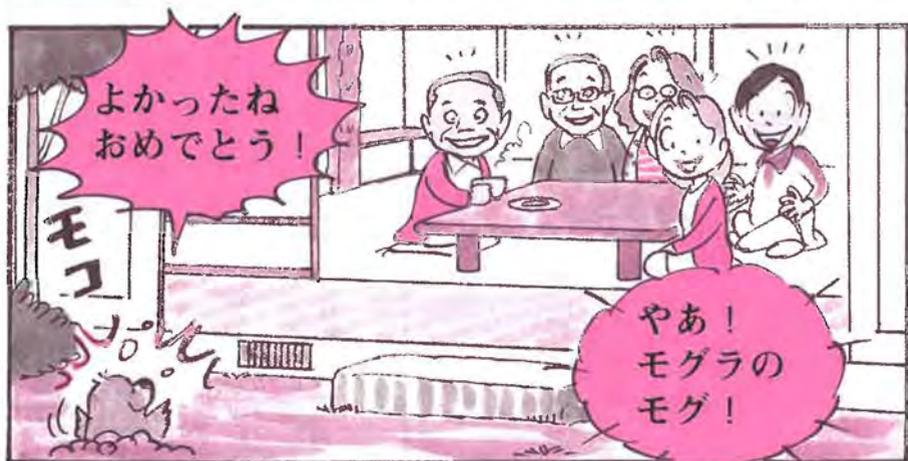
文二郎おじさん



モグ







土地を譲り  
受けるには  
色々な手続きが  
必要になるよ



手続きねえ…  
仕事もあるし  
どうしよう？



それじゃ  
土地家屋調査士  
に頼むと  
便利だよ



じゃあ  
ぜひ  
紹介してよ！



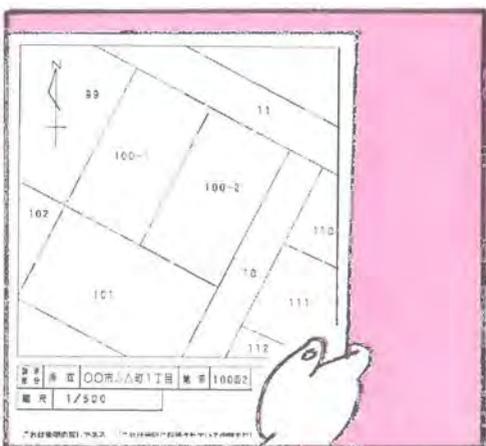
OK！  
土地のことなら  
このモグに  
まかせてモグ！



山田さん？  
頼みたい事が  
あるんだチョット  
来てくれるモグ！









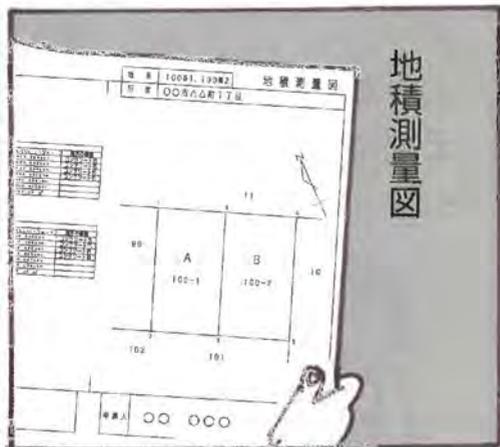
目100-2		全部事項証明書		(土地)	
(土地の表示)		測量 平成00年0月0日	地図番号	B52-2	
3219874					
目		除目			
【 地積 】 m <sup>2</sup>		【 原因及びその日付 】		【 登記の日付 】	
900;		100番から5分筆		昭和00年00月0日	
(甲区)		(所有権に関する事項)			
【 受付年月日・受付番号 】		【 原因 】		【 権利当その他の事項 】	
昭和00年00月0日 第0000号		昭和00年00月0日相続		所有者 〇〇市△△町2丁目2番2号 〇〇 〇〇〇	

ていする事項の全部を証明した書面である。

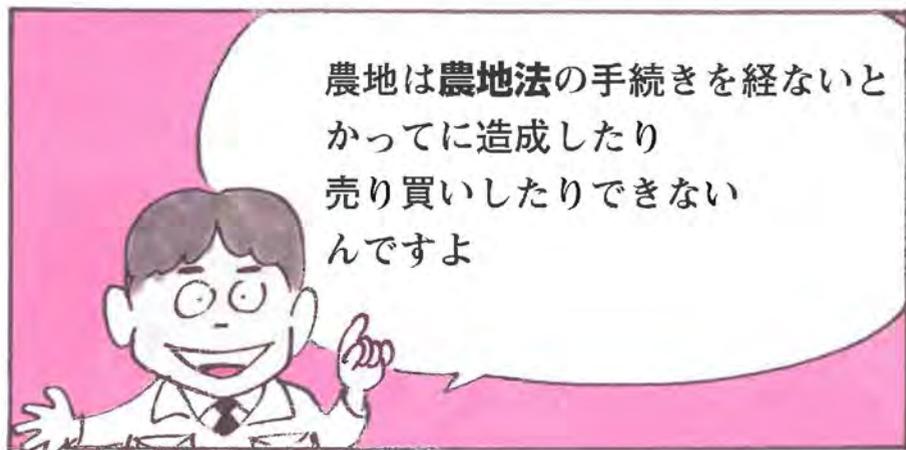
〇〇月〇日  
〇〇出張所

登記官 田 野 〇〇

登記事項証明書











今回はお隣り同士  
トラブルがありませんでしたが  
境界標がないために  
もめる事があります



### 境界標がなく困った事例

この石を  
境に決めた  
はずだ!

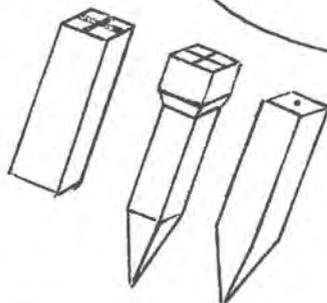


イヤ!  
この木が境  
じゃて!



境界の事で困った時は  
筆界特定制度と  
境界問題相談センター  
があるよ

境界杭



境界を  
お互いに  
確認しましょう





お隣りとの  
境界確認書も  
取り交わしましたし  
これで安心ですね



いやあー  
土地家屋調査士の  
山田君に頼んで  
良かったよ

ではこれから  
私が分筆登記の  
手続きに  
入ります



そしてこのあと  
農地転用と  
所有権移転の  
手続きが  
必要になります

フム  
フム







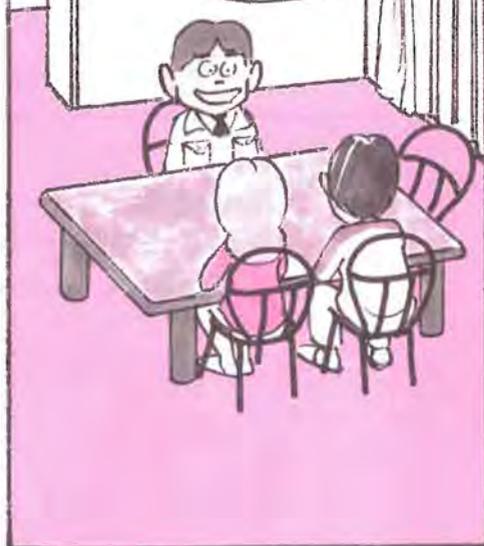






数日後—

いい家に  
仕上がりましたねェ  
これですべての手続き  
は終わりました



なにもかも  
山田さん  
にお世話になり  
ありがとう  
ございました



マイホームの  
あとは  
お子さんですね



ハイ  
がんばり  
まーす









子供部屋の  
増築の時は  
また山田さんに登記を  
お願いしないとね

その時は  
またお手伝い  
させて  
いただきます

メデタシ  
メデタシだ  
モグ〜ッ



# 1 登記制度

## 法務局（登記所）

---

登記の事務は法務局で行われています。各地域にその地域を管轄する法務局・地方法務局とその出先機関として支局・出張所があります。不動産に係る登記では不動産の現在の状況と権利関係が記録されています。

## 登記官

---

法務局（登記所）で行う登記事務を取り扱うのは登記官です。

## 地 図

---

登記所には不動産登記法14条1項で正確な測量及び調査の上、作成された地図（「**法第14条第1項地図（図1）**」と呼びます）を備え付けることとされていますが、この地図が備え付けられていない地域も多くあります。このような地域では、「法第14条第1項地図」が備え付けられるまでの間、地図に準ずる図面（いわゆる「**公図（図2）**」と呼ばれるもの）を備え付けることができることになっています。この地図に準ずる図面は「法第14条第1項地図」と比べ、精度が比較的低い地図です。これらの図面は手数料を納めることにより、閲覧または写しを請求することができます。



## 地積測量図

---

地積測量図（図3）は土地の表題登記、地積変更・更正登記、分筆登記の際に登記申請に添付され、登記所で保管されている1筆ごとに作成された土地の測量図です。地積測量図からは、1筆の土地の形状・面積・方位及び隣接地番、境界標の種類、境界点間の距離などがわかります。ただし、地積測量図が全ての土地について備え付けられているとは限りません。地積測量図は、手数料を納めることにより、閲覧または写しを請求することができます。

## 建物図面・各階平面図

---

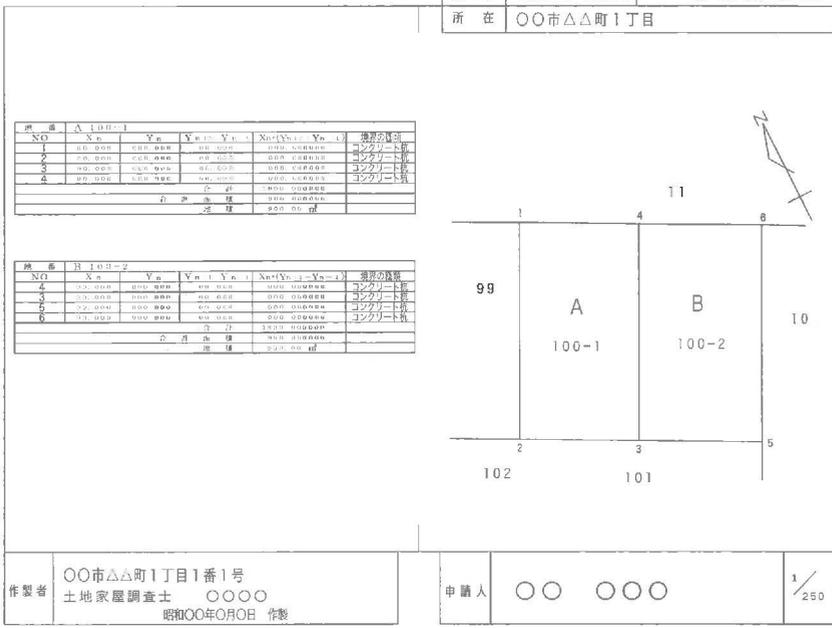
建物図面・各階平面図（図4）は建物新築登記及び建物増築登記等の際に登記申請に添付され、登記所で保管されている建物1個ごとに作成されています。建物図面は、建物の敷地並びにその1階の位置及び形状を明確にしています。各階平面図は、各階ごとの建物の周囲の長さ、床面積及びその求積方法が記載されています。建物図面・各階平面図は、手数料を納めることにより、閲覧または写しを請求することができます。

これが地積測量図と  
建物図面・各階平面図だよ



图3 地積測量図

地番 100番1、100番2  
所在 ○○市△△町1丁目 地積測量図

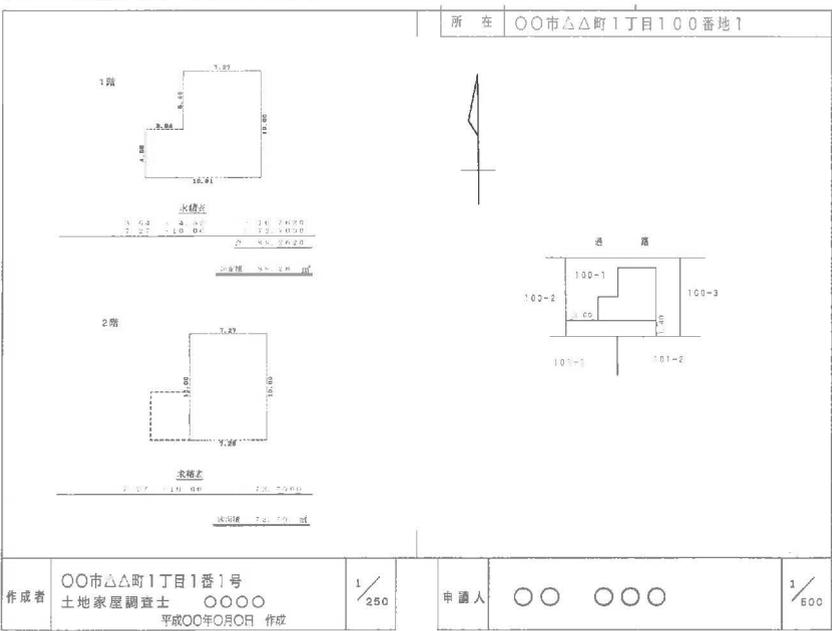


作製者 ○○市△△町1丁目1番1号  
土地家屋調査士 ○○○○  
昭和○○年○月○日 作成

申請人 ○○ ○○○ 1/250

图4 建物図面・各階平面図

所在 ○○市△△町1丁目100番地1



作成者 ○○市△△町1丁目1番1号  
土地家屋調査士 ○○○○  
平成○○年○月○日 作成 1/250

申請人 ○○ ○○○ 1/500

## 登記事項証明書

---

1筆（1区画）の土地・1個の建物ごとに記録されている登記記録の内容を登記官が証明した書面のことをいいます（図5）。以前、書類によって登記記録が管理されていたときは、この写しを使用し登記簿謄本と呼ばれていました。

登記事項証明書は表題部と権利部に区分して作成されています。

表題部には、土地の場合は所在、地番、地目、地積など、建物の場合には所在、家屋番号、種類、構造、床面積などが記載されています。

さらに、権利部は甲区と乙区に区分され、甲区には所有権に関する登記事項が、乙区には所有権以外の権利（抵当権など）に関する登記事項がそれぞれ記録されています。

## 登記事項要約書

---

登記簿の管理から、登記簿データとしてデジタル化したもので、法務局は、従来の登記簿抄本、閲覧に代わるものとして**登記事項要約書**（図6）を発行しています。要約書は主要事項のみで、作成年月日や登記官の認証はありません。

これが  
登記事項証明書と  
登記事項要約書  
だよ



図5 登記事項証明書

〇〇市△△町1丁目100-2				全部事項証明書		(土地)	
【表題部】 (土地の表示)			調査 平成〇〇年〇月〇日		地籍番号 B52-2		
【不動産番号】 9876543219874							
【所在】 〇〇市△△町1丁目							
【①地番】		【②地目】		【③地積】 m <sup>2</sup>		【原因及びその日付】	【登記の日付】
100番2		畑		900		100番から分筆	昭和〇〇年〇月〇日
【権利部 (甲区)】 (所有権に関する事項)							
【順位番号】	【登記の目的】	【受付年月日・受付番号】		【原因】	【権利者その他の事項】		
1	所有権移転	昭和〇〇年〇月〇日 第〇〇〇〇号		昭和〇〇年〇月〇日相続	所有者 〇〇市△△町2丁目2番2号 〇〇(XX)		

これは登記記録に登録されている事項の全部を証明した書面である。

平成〇〇年〇月〇日  
 ◇法務局〇〇出張所

登記官 甲野一郎

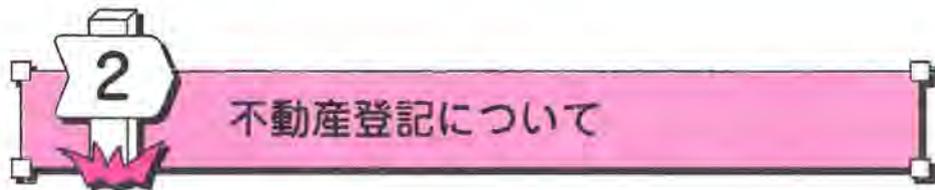
印

図6 登記事項要約書

登記事項要約書 土地						
1	表題部	〇〇市△△町1丁目				
	権利部 所有権	100番3	畑	150	100番2から分筆	平成〇〇年〇月〇日
		〇〇市△△町3丁目3番3号 〇〇〇〇				平成〇〇年〇月〇日 第〇〇〇〇号

※下線のあるものは抹消事項であることを示す。

整理番号P00000 1/1



## 2 不動産登記について

「不動産登記」は大きく分けて二つの種類があります。

一つは「表示に関する登記」。もう一つは「権利に関する登記」です。

「表示に関する登記」は不動産（土地・建物）の物理的状況、例えば土地であれば、どこに、どれくらいの広さで、どのように利用されている土地があるのかを明確にするための登記であり、「土地家屋調査士」がこれを扱います。

「権利に関する登記」は不動産（土地・建物）に関する各種権利、例えば、所有権、抵当権、地上権などの保存、設定、移転、変更、処分の制限又は消滅を公示するための登記です。同じ登記ですが、こちらは「司法書士」がこれを扱います。

このように、同じ不動産登記でも「表示に関する登記」と「権利に関する登記」では別々の資格者が取り扱います。

さて、土地家屋調査士が扱う「表示に関する登記」は、さらに「土地に関する登記」と「建物に関する登記」に分かれます。

## 土地に関する登記は・・・

**土地分筆登記**…一筆の土地を二筆またはそれ以上に分ける登記です。

※土地の個数は「筆」という単位で表します。ただし外見上、一区画の土地でも数筆の土地からなる場合がありますし、逆に一筆の土地であっても外見上、数区画に分けられている場合もあります。

**土地合筆登記**…分筆登記の逆で、複数筆の土地を一筆にする登記です。

**土地地目変更登記**…土地の地目（利用状況）が変わったときにする登記です。

（例えば、畑を造成して家を建てた場合など）



**土地面積更正登記**…登記されている面積と、実際の面積が異なる場合に、登記記録を実際の面積に修正する登記です。分筆登記に伴って行われることもあります。

**土地表題登記**…公有水面（海・湖など）を埋め立てたり、国有地である無地番の道水路を払い下げたりするときに行う登記です。

## 建物に関する登記は・・・

**建物表題登記**…一戸建ての住宅や店舗、賃貸アパートなどの建物を新築したときにする登記です。建物の種類としては「居宅」「店舗」「共同住宅」などとして登記されます。



**区分建物表題登記**…分譲マンションなど、一棟の建物を区分して所有する形態の「区分所有建物」を新築したときにする登記です。

**建物表題変更登記**…建物を増築することによって床面積が増えたり、建物の用途を変更したときにする登記です。また、物置などの附属建物を増築した時などにもこの登記が必要です。



**建物滅失登記**…建物を取り壊したり、焼失したときにする登記です。

「表示に関する登記」はほとんどの場合、所有者に申請義務が課せられており、新築または変更があったときから一ヶ月以内に法務局へ申請しなければなりません。

申請書の記載や添付書類・添付図面の作成など煩雑な手続きもありますので、専門資格者である土地家屋調査士にご相談ください。



## 筆界と所有権界

### 1. 筆界と所有権界(二つの境界)

土地の境界には、「筆界」と「所有権界」の二つの境界があります。

法務局に一筆として公示されている土地とこれに隣接している土地との線を「筆界(公法上の境界)」といいます。「筆界」は、一筆の土地が登記されたときに境が構成されます。明治時代の地租改正事業や区画整理事業・耕地整理事業など国家によって区画された線です。

所有者の利用状況など、合意によって設定した線は、筆界と区別して「所有権界」といいます。「筆界」と「所有権界」は理論的に区別をされますが、一致していることがほとんどです。

例えば、一筆の土地の一部を他人に譲渡した場合や折れ曲がった筆界を所有者の合意によって直線に引き直した場合など、その後に分筆登記手続・所有権移転登記手続を行わなければ、「筆界」と「所有権界」が一致しないこととなります。「筆界」は、個人間の合意によって変更することはできません。

### 2. 境界の紛争

土地の境界について争いがある場合には「境界確定訴訟」「所有権確認訴訟」など裁判手続きによってその解決が図られてきました。

近年では以下に説明する「筆界特定制度」の創設や「境界問題相談センター」の設立によりその解決手続きの選択肢が広がっています。

### 3. 筆界特定制度

法務局において平成18年1月から、筆界が明らかでない場合に「土地の筆界の現地における位置を特定する制度(筆界特定制度)」が導入されました。

土地の所有権の登記名義人等の申請に基づいて「筆界特定登記官」が筆界を特定します。

この筆界特定制度では、「筆界調査委員」という専門家が、これを補助する法務局の職員とともに、土地の実地調査や測量を含むさまざまな調査を行った上、筆界に関する意見を筆界特定登記官に提出し、筆界特定登記官は、その意見を踏まえて筆界を特定します。

土地家屋調査士は、筆界調査委員の中心となりその職務にあたっています。

なお、土地の所有権(所有権界)の争いは、筆界特定制度では取り扱うことはできないので注意してください。

## 4. 境界問題相談センター<sup>1</sup>

---

裁判によらない紛争解決方法(仲裁、調停、あっせんなど)を広く指して「裁判外紛争解決手続(ADR)」といいます。全国の土地家屋調査士会は、土地の境界に関するADR(境界問題相談センター等)を立ち上げました<sup>2</sup>。

境界問題相談センターでは、土地家屋調査士(境界の専門家)と弁護士(法律の専門家)との協働による相談・調停を行い、裁判によることなく迅速かつ当事者のニーズにあった納得できる解決を目指して活動しています。

## 5. 民間紛争手続代理関係業務

---

平成17年4月6日第162回国会において、不動産登記法等の一部を改正する法律が成立し、法務大臣から認定を受けた土地家屋調査士に、土地の筆界が明らかでないことを原因とする民事に関する紛争に係る裁判外紛争解決手続(ADR)についての代理・相談業務が認められました<sup>3,4</sup>。

1. 各土地家屋調査士会により名称は異なります
2. 設立または設立準備中
3. 法務大臣の指定した民間紛争解決手続を行う代理業務
4. 土地家屋調査士の民間紛争解決手続代理業務については、弁護士が同一の依頼者から受任していることが要件となります



## 土地の利用規制に関する主な法律

自己所有地といえども、その利用に際しては法律上各種制限が課せられています。建物を建築する場合には、都市計画法や建築基準法などが、その代表的な制限法令となります。

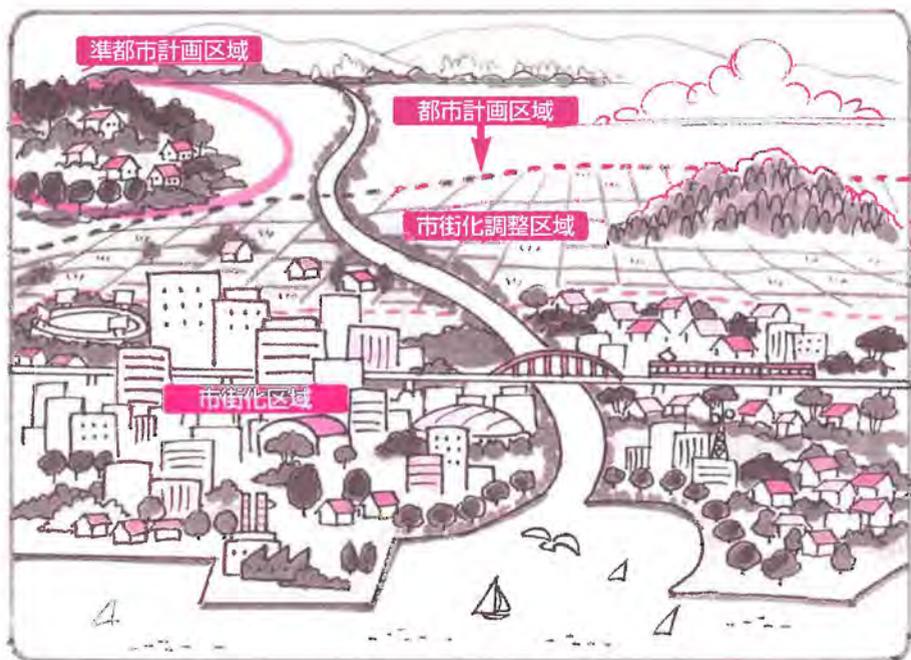
### 都市計画法

「都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もつて国土の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。」とし、地域区分を定め、各種制限を設けています。

**都市計画区域**…一体の都市として総合的に整備、開発、保全の必要のある区域

土地利用規制としていわゆる「線引き」（市街化区域、市街化調整区域に区分すること）がなされ、用途地域（建物用途の制限等）などが指定されます。市街化調整区域は「市街化を抑制すべき区域」とされているため、原則として建物の建築はできません。

**都市計画区域外**…従来は、土地利用規制はあまりありませんでしたが、「準都市計画区域」として指定された場合は、開発許可や建築確認制度が適用される場合もあります。



## 宅地造成等規制法

---

宅地造成に伴うがけ崩れ、土砂の流出による災害防止のため、必要な規制を行うもので、災害から人の生命・財産を保護することを目的に制定されました。

## 建築基準法

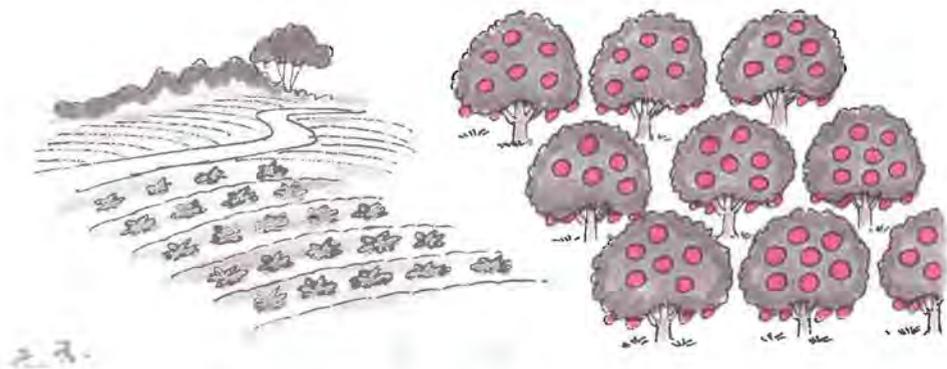
---

「建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康及び財産の保護を図り、もつて公共の福祉の増進に資することを目的」として各種制限が規定されています。なお、分筆登記をする場合には、特に道路との関係に注意が必要です。

## 農地法

「農地はその耕作者みずからが所有することを最も適当であると認めて、耕作者の農地の取得を促進し、及びその権利を保護し、並びに土地の農業上の効率的な利用を図るためその利用関係を調整し、もつて耕作者の地位の安定と農業生産力の増進とを図ることを目的」とした法律です。

農地を保護することが主眼となっているため、転用(農地を農地以外の目的に利用する) する場合には、原則として「許可」が必要となります。許可を得るためには転用面積等の一定の条件を満たす必要があり、広い土地の場合、転用許可申請の前に分筆登記が必要となる場合もあります。



農地を住宅用地  
などに転用する時は  
許可をとってね!  
果樹園も農地だよ



## 境界を決定する杭の種類

### 石の杭



### ステンレス製の杭



### コンクリート製の杭



金属板（プレート）



金属鉢



プラスチックの杭



## 土地家屋調査士会

会名	電話番号	会名	電話番号
札幌土地家屋調査士会	☎011 (271) 4593	石川県土地家屋調査士会	☎076 (291) 1020
函館土地家屋調査士会	☎0138 (23) 7026	富山県土地家屋調査士会	☎076 (432) 2516
旭川土地家屋調査士会	☎0166 (22) 5530	大阪土地家屋調査士会	☎06 (6942) 3330
釧路土地家屋調査士会	☎0154 (41) 3463	京都土地家屋調査士会	☎075 (221) 5520
宮城県土地家屋調査士会	☎022 (225) 3961	兵庫県土地家屋調査士会	☎078 (341) 8180
福島県土地家屋調査士会	☎024 (534) 7829	奈良県土地家屋調査士会	☎0742 (22) 5619
山形県土地家屋調査士会	☎023 (632) 0842	滋賀県土地家屋調査士会	☎077 (525) 0881
岩手県土地家屋調査士会	☎019 (622) 1276	和歌山県土地家屋調査士会	☎073 (421) 1311
秋田県土地家屋調査士会	☎018 (824) 0324	広島県土地家屋調査士会	☎082 (567) 8118
青森県土地家屋調査士会	☎017 (722) 3178	山口県土地家屋調査士会	☎083 (922) 5975
東京土地家屋調査士会	☎03 (3573) 0587	岡山県土地家屋調査士会	☎086 (222) 4606
神奈川県土地家屋調査士会	☎045 (312) 1177	鳥取県土地家屋調査士会	☎0857 (22) 7038
埼玉土地家屋調査士会	☎048 (862) 3173	島根県土地家屋調査士会	☎0852 (23) 3520
千葉県土地家屋調査士会	☎043 (204) 2312	香川県土地家屋調査士会	☎087 (821) 1836
茨城県土地家屋調査士会	☎029 (259) 7400	徳島県土地家屋調査士会	☎088 (626) 3585
栃木県土地家屋調査士会	☎028 (621) 4734	高知県土地家屋調査士会	☎088 (825) 3132
群馬土地家屋調査士会	☎027 (253) 2880	愛媛県土地家屋調査士会	☎089 (943) 6769
静岡県土地家屋調査士会	☎054 (282) 0600	福岡県土地家屋調査士会	☎092 (741) 5780
山梨県土地家屋調査士会	☎055 (228) 1311	佐賀県土地家屋調査士会	☎0952 (24) 6356
長野県土地家屋調査士会	☎026 (232) 4566	長崎県土地家屋調査士会	☎095 (828) 0009
新潟県土地家屋調査士会	☎025 (281) 4433	大分県土地家屋調査士会	☎097 (532) 7709
愛知県土地家屋調査士会	☎052 (586) 1200	熊本県土地家屋調査士会	☎096 (372) 5031
三重県土地家屋調査士会	☎059 (227) 3616	鹿児島県土地家屋調査士会	☎099 (257) 2833
岐阜県土地家屋調査士会	☎058 (245) 0033	宮崎県土地家屋調査士会	☎0985 (27) 4849
福井県土地家屋調査士会	☎0776 (33) 2770	沖縄県土地家屋調査士会	☎098 (834) 7599

※詳細は、土地家屋調査士会もしくは  
お近くの土地家屋調査士事務所にご相談ください。

くい  
杭を残して  
悔いを残さず



